



萱中だより

《校訓》 礼儀・自主・勤労・協同

三笠市立萱野中学校

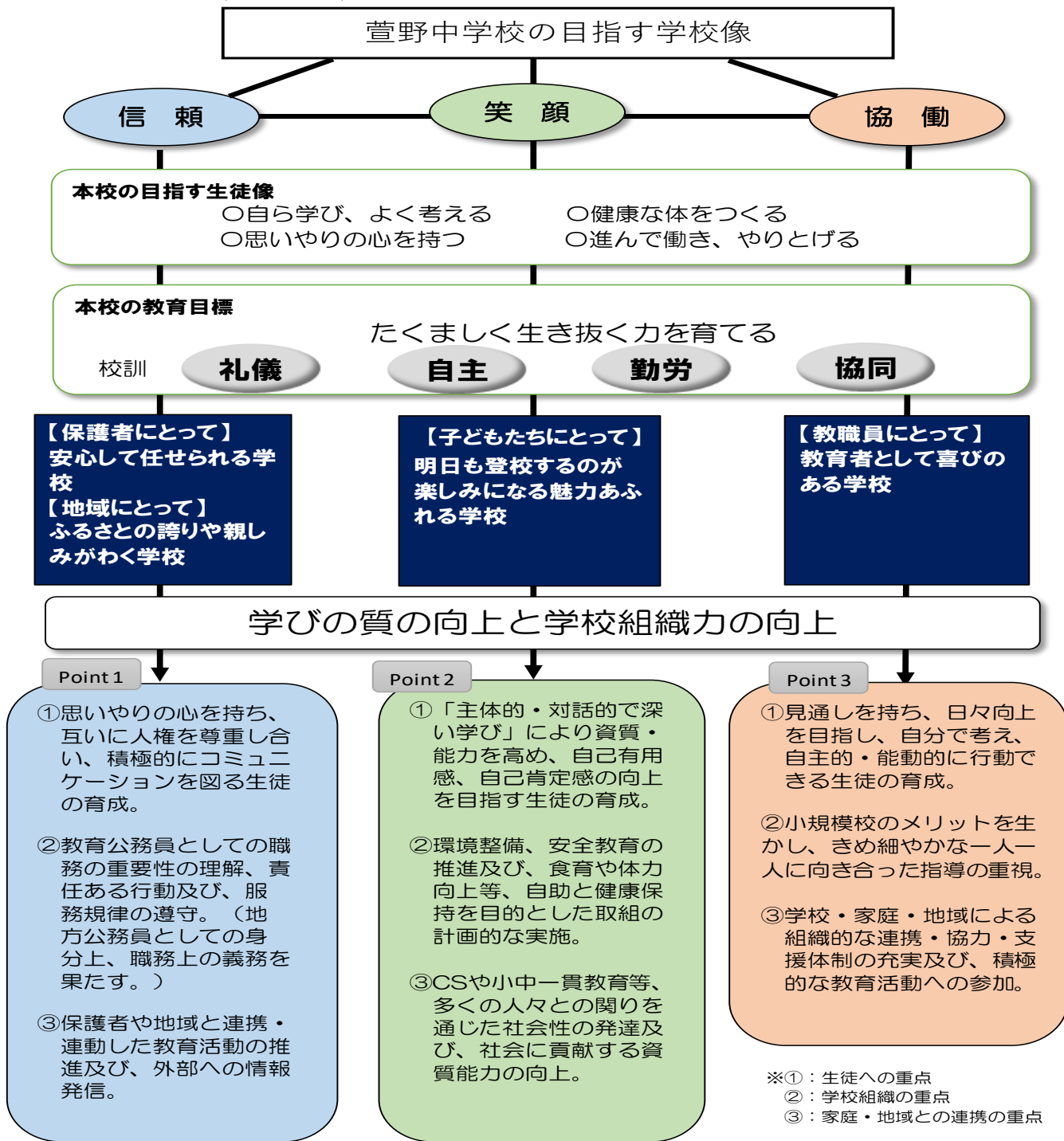
校長 薄葉 康

三笠市萱野 192 番地 Tel 2-2308

発行：令和3年5月31日 <2号>

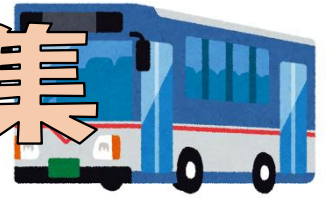
令和3年度 三笠市立萱野中学校グランドデザイン

全体構造図（令和3年度）





旅行的行事特集



～ 炭鉄港を通じた地域活性化の取組 ～

2年生 宿泊研修 【5月13日(木)～14日(金) 白老町・室蘭市】

【研修先】しらおいイオル事務所チキサニ、輪西八条アトリエ、旧室蘭駅、日本一の坂、旧三菱合資会社室蘭出張所、旧絵鞆小学校、室蘭市民俗資料館

アイヌ文化や炭鉄港の『鉄（室蘭）』と『炭（空知）』との関わりについて、深く学んできた2日間でした。チキサニでは民族楽器のムックリの制作・演奏、そして、踊りなどを体験しました。室蘭では鉄のキーホルダー作りの体験、円形校舎や資料館等の見学をしましたが、三笠市を含めた空知と室蘭がとても深く関係していることを改めて知ることができました。



3年生 修学旅行 【5月12日(水)～14日(金) 函館市・室蘭市】

【研修先】トラスチヌ修道院、五稜郭公園、旧絵鞆小学校、函館山、函館どつく室蘭製作所、輪西八条アトリエ、室蘭水族館、函館市内自主研修

『「Fe」 F～普段なじみのない街について三笠との違いを理解しよう。 E～笑顔で思い出に残る修学旅行にしよう。』をテーマに研修を行ってきました。先生、生徒の日頃の行いがよく、3日間、天候にも恵まれ、大きな事故やケガもなく、無事、終わることができました。

函館では2班に分かれ、自主研修を行いました。また、函館山の夜景や五稜郭タワーからの景色はとてもきれいでした。室蘭では見学や体験を通して、炭鉄港の『鉄』や『港』について学んできました。各地のグルメもしっかりと堪能してきたようです。羨ましい限りです・・・



※1年生の見学旅行につきましては新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら実施時期を今後検討していきます。

自主防災組織 結成式

4月28日(水)に自主防災組織の結成式が行われました。

自主防災組織とは「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織で、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織になりますが、このような組織に中学校が入るのは非常に珍しく、先進的な取組になるそうです。

主に組織の一員として活動をするのは、在校時間に災害が起きた場合になりますが、9月には立ち上げた組織を使って防災学校(訓練)を行います。

しっかりとした知識を身につけておくことで、いざという時に役に立ちます。災害はいつ起きるかわかりませんので、このような機会を大切に、防災に対する意識を高めて欲しいと思います。



◆日課

会議日課 6h→15:00 下校
通常日課 5h→14:40 下校

◆SC

スクールカウンセラー来校日



第2回

萱中スポーツ大会

今年こそ!と思っていた小中合同運動会ですが、GW明けから続く北海道及び道央圏の感染拡大の影響を受け、残念ながら中止となってしまいました。

しかし、昨年度に引き続き、

7月12日(月)3・4時間目に第2回萱野中学校スポーツ大会を実施する予定です。昨年度行った種目や生徒会提案種目、新たに加える種目など計5種目行います。

平日になりますが、参観日にあわせての実施になりますので、多くの保護者の方にご覧いただければと思います。

なお、雨天の場合は中止となり通常授業となります。ご了承下さい。

日	曜	学校行事	日課	給食	SC
1	火	花壇活動 衣替え準備	会議	○	
2	水	委員会	会議	○	
3	木	花壇活動予備日		○	
4	金			○	
5	土				
6	日				
7	月	衣替え(夏服) 小中一貫合同研修会	5h	○	
8	火	委員会	会議	○	
9	水			○	
10	木	中体連陸上大会	5h	○	
11	金	中体連陸上大会予備日 三笠市家庭学習強調週間(~24日)		○	
12	土				
13	日				
14	月	教育相談(~25日) 市P連役員会		○	午前
15	火			○	
16	水	小中相互参観(~18日)		○	
17	木	職員会議	5h	○	
18	金	第2回岡萱CS委員会		○	
19	土				
20	日				
21	月	テスト前諸活動停止(~24日)		○	
22	火			○	
23	水	耳鼻科検診(1年生)		○	
24	木	1学期期末テスト① 校内研修	5h	○	
25	金	1学期期末テスト②		○	
26	土				
27	日				
28	月	委員会	会議	○	午前
29	火			○	
30	水			○	

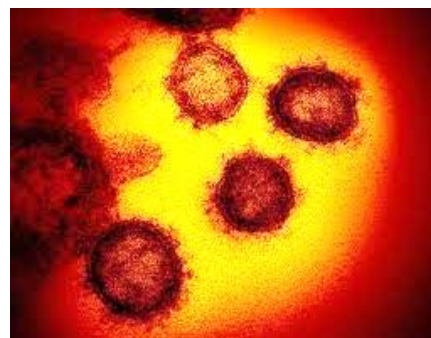
※今後も感染状況により様々な変更があるかもしれません。

ご了承下さい。

この時代、ますます重要な「家庭学習力」

校長 薄葉 康

今年度、コロナウイルスの状況は好転していくものだと思っていましたが、好転どころか現在、感染者数については過去最多を更新しています。さらには「インド株」なる新たな変異種まで出てきました。こうなると開発されたワクチンの効果を不安視する声もあがってきそうですが、報道番組等では「変異種にも一定の効果はある」とのことで少しの安心材料になっているようです。



日々、新型コロナウイルス感染症の対応・対策にご尽力いただいている方々には本当に、ただただ頭が下がる思いですが、なんとかワクチンの早急に接種体制の構築をお願いするばかりです。

さて、学校には令和2年度末に生徒一人一台のタブレットPCが入ってきました。コロナウイルスの影響以外でも学校で学習ができなくなる可能性はいくつか考えられます（コロナウイルス以外の感染症や災害など）。当初、タブレットPCは「一人一人の子どもたちに最適な学習環境をつくること」が大きな目的の一つでしたが、今やそれだけでなく、学校と各家庭をインターネットでつなぎ、学校に来られない状況が生じても「子どもたちの学びを止めないこと」に大きな期待が寄せられています。学校では、家庭への持ち帰りも想定しながら、どんな状況でもできるだけ学習が停滞してしまわないように、子どもたちにタブレットPCの使用方法を指導しているところです。

ただ、便利な学習ツールがどんなに多く使えるようになったとしても、実際に持ち帰ってPCを使うのは子どもたち自身です。子どもたちに自主的・主体的に課題に取り組む気持ちがなければ、PCを持ち帰ったところで学びは進行しません。逆に、自分で課題を見つけ、やるべきことを考えて実践に移していくことができれば、たいへん効果的・効率的に学習を進めることができます。つまり、学校で学習ができなくなったときの学びを左右するのは、子どもたちの「家庭学習力」と言えます。



家庭学習力は一朝一夕で身につくものではありません。家庭学習はひとつの生活習慣だからです。普段から家に帰ったら『一定時間、机に向かって予習や復習に取り組む』ということを積み重ねておくことが重要です。

本校では「中学生の家庭学習ガイド」を作成して生徒全員に渡し、指導をしていますので、ぜひご家庭でもご活用いただき、子どもたちが自分で学習を進めていけるようご支援ください。

～ 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力、よろしくお願い致します。 ～